

X mettre YZ 再考 : Y または Z が人の場合

佐々木 幸太

(関西学院大学非常勤)

本発表は、フランス語の開始アスペクトに関する研究の一環である。

mettre の行為主体を X, 行為対象を Y, 行為後の Y のありかたを Z とする。フランス語では, X が「Y が Z にあること」(以下, YZ) を実現させることを mettre で表すことがある。

- (1) De ma vie je n'aurai mis autant de sucre dans une petite tasse de café.(Bianciotti, H., 1995, le pas si lent de l'amour : 127)
- (2) Le travail n'est pas très prenant : on se lève juste pour aller mettre en marche les machines, on engrange les données. (Le Monde, 2003 / 08 / 13 : 16)

(1) では砂糖をコーヒーカップに入れることを, (2) では機械を稼働状態にすることを mettre で表している。

mettre の基本的な働きを扱う研究には, Saunier (1996, 1999) がある。Saunier の指摘は示唆に富んでいるが, 曖昧な部分が残っている。たとえば, Y または Z が人の場合, (3)-(5) のように mettre の容認度が下がることがあるが, Saunier は容認度が変化する仕組みを十分に明らかにしていない。

- (3) ? Claude a mis Dominique sur la chaise.
- (4) ? Claude a mis Dominique à chanter.
- (5) ?? Claude a mis un cadeau à Dominique.

本発表では, まず Saunier の問題点を指摘し, 話し手が <X mettre YZ> で何を表すかを発話例の分析にもとづいて考える。そして, Y が人の場合と Z が人の場合について, mettre の容認度が変化する仕組みを明らかにする。